



2017年 8月号 7/10 月 発売

特集

ブロックチェーン & フィンテックの衝撃

ブロックチェーンやフィンテックは今後どのように進展し、社会にどのようなインパクトを与えるのか。

掲載予定

HBR 論文

■ ブロックチェーンの真実

マイケル・マンキンス (ベイン&カンパニー パートナー) ほか
“The Truth About Blockchain” HBR, January-February 2017.

基盤となる技術の社会への適用は、単一のサービスへの使用 (single use)、局所的な使用 (localization)、これまでの物事のやり方の代替 (substitution)、社会変革 (transformation) の4つのフェーズがある。例えば email 技術の基盤となる TCP/IP は transformation のフェーズまで来るのに 30 年かかった。取引の基盤技術であるブロックチェーンの4つのフェーズは以下ようになる。

1. **Single use**: 現在のビットコイン。限られた数のユーザーが支払いの代替手段として使用している。総取引額 441 兆ドルに対し、920 億ドル。
2. **Localization**: 複数の組織が分配された台帳を通じてつながった状態。証券取引所、金融機関が、現在の紙ベースの取引に代わる手段として導入を始めている。
3. **Substitution**: ビットコインが通貨として使われている状態。これまで通貨の発行を独占してきた国へのチャレンジとなる。
4. **Transformation**: 例えば、荷物が届いた瞬間に自動的に支払いがなされるような「スマート契約」が実現している状態。

4 の状態になるまでにはまだあと 30 年近くはかかると思うが、企業は来るべき変革を見越し、single use のところから試し (ビットコインを導入してみる)、局所的な使用へと移行していくのがよい。substitution となりうるアプリケーションの開発は細心の注意が必要で、transformation はまだ先だが、もしこれが実現した時にどうしたら自分たちのビジネスモデルが成り立つのかを考え始めたらどうか。

掲載予定

オリジナル論文

■ フィンテック最前線：銀行、証券、保険、カード会社の攻防

林野宏（クレディセゾン 代表取締役社長）

■ ビットコインの進化

鳩貝淳一郎（『ビットコインとブロックチェーン 暗号通貨を支える技術』 記者）

■ ブロックチェーンで貨幣経済はどう変わるのか

岡田仁志（国立情報学研究所 准教授）

ブロックチェーンシステムが汎用化され、仮想通貨が当たり前のように流通する時代、個人や企業の生活はどのように変わるのか。

広告掲載料金

広告掲載のご案内



雑誌

4C2P(中面) 200万円 (税抜)

4C1P(中面) 100万円 (税抜)

4C2Pタイアップ

~~250万円 (税抜)~~ → 200万円 (税抜)
(製作費込)



DHBRオンライン

トップレクタングル 50万円 (税抜)

GIF+テキスト 40万円 (税抜)

テキスト枠 20万円 (税抜)

お申込み・お問い合わせ

ダイヤモンド社クロスメディア推進部
Tel : 03-5778-7220 Fax : 03-5464-0783
E-mail : web_sd@diamond.co.jp

掲載スケジュール

タイアップ申し込み締め切り：2017年 5月10日(水)
(5月中に取材)

純広告掲載申し込み締め切り：2017年 6月10日(土)